



NCCN/JCCNB Seminar in Japan

～乳がん診療ガイドライン総括～



ジョアン S. マクルーア
全米がん情報ネットワーク(NCCN)
副総裁



ステファン B. エッジ
ロスウェル・パークがん研究所
プレストセンター長
乳腺・軟部腫瘍外科部長 外科・腫瘍学教授



ウィリアム T. マクギブニー
全米がん情報ネットワーク(NCCN)
総裁



リチャード L. セリオール
テキサス大学
M.D.アンダーソンがんセンター
乳腺腫瘍内科 教授



エリック P. ワイナー
ハーバード大学
ダナ・ファアバーがん研究所
女性のがん部長 腫瘍内科 教授



ローラ C. コリンズ
ハーバード大学医学部
病理学 准教授



ロバート W. カールソン
スタンフォード大学
メディカルセンター
腫瘍内科 教授

Public
Interactive
Session



中村 清吾
JCCNB代表理事
聖路加国際病院
乳腺外科 部長



黒井 克昌
東京都立駒込病院
外科 臨床試験科 部長



秋山 太
癌研究会癌研究所
病理部 副部長



藤原 康弘
国立がんセンター中央病院
乳腺 腫瘍内科 グループ長



岩田 広治
愛知県がんセンター
乳腺科 部長



武井 寛幸
埼玉県立がんセンター
乳腺外科 科長兼部長



森谷 卓也
川崎医科大学
病理学2 教授



清水 千佳子
国立がんセンター中央病院
乳腺内科

乳癌診療ガイドラインの策定方法、内容、アウトカムの分析手法を、米国側はNCCN乳がん治療委員会のWriting Committee Memberを中心に、日本側は日本の診療ガイドライン作成の各小委員会の委員とJCCNB役員の医師による構成です。今年度ガイドラインの改訂ポイントを中心にパワーポイントを画面に表示しながら相互比較討論を行い、それを一般聴講の形式で公開する。

文化の違い、医療・研究制度の違いがあるものの、世界の標準治療を遅滞なく日本に導入するため、根幹を共有し、共通の尺度で医療の質を評価できるようにすることが目標です。また、今回は特別講演として、最近クローズアップされてきた保険等医療経済の問題も取り上げます。

日 時： 11月1日(土) 12:55~17:35
11月2日(日) 09:00~12:30

場 所： 東京国際フォーラム ホールB5、ホールD5

テ ー マ： 乳がん診療ガイドライン総括

対 象： 医師・一般(ご関心のある方)

Chair： 米国側 Robert W. Carlson
(スタンフォード大学メディカルセンター腫瘍内科教授)

日本側 中村清吾
(JCCNB代表理事、聖路加国際病院乳腺外科部長)

スピーカー： 米国側	日本側
William T. McGivney	黒井 克昌
Joan S. McClure	秋山 太
	藤原 康弘
Stephen B. Edge	森谷 卓也
Richard L. Theriault	武井 寛幸
Eric P. Winer	岩田 広治
Laura C. Collins	清水 千佳子

井伊 雅子
佐谷 秀行



NPO法人
日本乳がん情報ネットワーク
Japan Comprehensive Cancer Network, Breast (JCCNB)

〒104-0044 東京都中央区明石町11番3号 築地アサカビル
Tel. 03-6278-0498 Fax. 03-3543-4177
<http://www7a.biglobe.ne.jp/~jccnb/>

時間	分野	講師	
		米国側	日本側
	開会あいさつ	田原 総一郎	
	の現状と今後の展望	上田 博三 (厚生労働省健康局長)	
	特別講演 ●癌における医療経済【講演40分/日米講師による質疑応答15分】		
	特別発言	井伊 雅子 (一橋大学 国際・公共政策大学院 アジア公共政策プログラム 教授)	
	腫瘍内科 ●Adjuvant online, OncotypeDx, Mammprintなど 【Dr.Winer 講演20分/日米講師による質疑応答25分】 ●Triple negative Breast Cancerの診断と治療 【Dr.Winer 講演20分/日米講師による質疑応答20分】	Dr.Winer Dr.Collins Dr.Theriault Dr.Carson 等	
	休憩 —break—		
	外科 ●PCT後の切除範囲の決定方法、切除断端の診断法 ●センチネルリンパ節生検 (SNB) の適応 【Dr.Edge 講演30分/日米講師による質疑応答20分】		
	病理 ●DCIS及び良性増殖性病変の鑑別 【Dr.Collins 講演20分/日米講師による質疑応答20分】		

時間	分野	講師	
		米国側	日本側
		Dr.Carlson	Dr.中村
09:00~09:45 (45分)	腫瘍内科 ●ビスフォスフォネート製剤の使い方Adjuvant, Metastaticの両面から 【Dr.Theriault 講演25分/日米講師と参加者による質疑応答20分】	Dr.Theriault	
09:45~10:15 (30分)	外科 ●追加講演【日米講師と参加者による質疑応答】	Dr.Edge	
10分	休憩 —break—		
10:25~12:20 (115分)	腫瘍内科/外科/病理 ●追加講演 「効果予測」「Triple negative Breast Cancer」等 特別発言 全体ディスカッション	全員 (日米講師、会場参加者含む) 佐谷 秀行 (慶應義塾大学 医学部 教授)	
12:20~12:30 (10分)	総括	Ms.McClure	

